



林さんの白菜



虫の被害に対して動じる様子が微塵も無い林さん。「おかげさまのメンバーはみんなこんなものだよ」と、にこり。その笑顔がとても印象的でした。



今年は暖冬で大きく育った白菜ですが、虫の被害も出ています。「虫が無いものをなるべく出しますので」とのことでしたが、多少の虫食いは予めご理解ください。

★ようやく寒さで美味しくなってきました
年末年始の通信は、おかげさま農場の副代表をしている林さんの白菜です。

今年は暖冬の影響でどの野菜も予定以上に早く育っています。長年、白菜を作ってきた林さんも「今年は旬が狂っているな～」と言います。

「昔からこの辺りは9月頭過ぎに種を蒔けば、正月明けたら白菜が食べられると言われてきたんだ。でも今年は種を蒔く時が涼しくて、中盤で暖かかったでしょ？今になってようやく寒くなってきたけど、種を蒔く時期はいつもと同じなのに、出来上がるのはいつもに比べて1ヶ月早いよ」

また、過去に暖冬はあったといいますが「こんなに虫がいたことは無いよ」と言います。ちょうど虫が活動しなくなる頃に種を蒔くので、いつもは作った白菜の7割ほどは出せるそうですが、今年は虫の被害が大きく「出せるのは大体半分ぐらいだな」と言います。それでも「まあ、考えても仕方が無いよ。太陽さん次第だからな」と、おかげさま農場らしいコメントでした。

林さんの畑は野草を2年寝かせて作った自家製堆肥を入れ、1つ育てたら半年は休むなど「野菜をとった分は還す」ことを心がけています。なるべく自然に近い環境で育った白菜は、最近降り始めた霜で、寒さに耐えるよう身を縮め、「煮るとくたっとろけるようになるんだよね」と林さんもお勧めする美味しい季節に入りました。寒い冬こそ、林さんの白菜を是非、食卓に。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎寒さで野菜がますます美味しくなってきました。

◎白菜は虫の被害が多いため、注文量にもよりますが、1月いっぱい終了予定です。